

令和5年産水稻生育状況と適期刈取りについて

西目屋村作況調査資料

(中南地域県民局地域農林水産部作成)

本年は出穂期が平年に比べて6日程度早く、その後も県内全域において高温で経過したことから、刈り取りの適期は大幅に早まる見込みです。

刈り遅れは品質低下を助長するため、稲刈りの準備を早めに行い、適期内に収穫できるようにしましょう。

1 水稻の生育状況

西目屋村の出穂始めは7月30日、最盛期は8月1日(平年比6日早い)、終わりは8月4日であった。

【本田での生育状況】

品種	年次	田植 月日	7月15日				幼穂 形成期	出穂期	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂数	
			草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)					1株 (本/株)	m ² (本/m ²)
田代 まっしぐら	本年	5月25日	69.6	18.6	363	10.5	7月8日	7月30日	70.6	17.2	15.2	296
	平年	5月28日	65.7	22.8	467	10.4	7月12日	8月5日	74.2	17.8	18.9	386
	比・差	早3日	106	82	78	+0.0	早4日	早6日	95	97	80	77
田代 はれわたり	本年	5月25日	65.8	22.7	557	10.3	7月9日	7月31日	78.6	17.1	20.3	499

2 適期刈取り

刈取適期を判定するには籾の黄化程度を目安とし、部分刈りをして青未熟粒の混入割合を調査することが最も良い方法である。

また、補助的な目安として籾水分、枝梗の黄化程度、出穂後積算気温、出穂後日数等を考慮し、総合的に判断することが大切である。

刈取始期の目安

① 籾の黄化程度(ほ場全体の籾が90%程度黄化したとき)	④ 枝梗の黄化程度(枝梗の2/3が黄化したとき)
② 青未熟粒の混入割合(「まっしぐら」で10%程度まで低下したとき)	⑤ 出穂後積算気温(960°C~)
③ 籾水分(籾水分が25~26%程度まで減少したとき)	⑥ 出穂後日数(出穂後45~50日頃)

【出穂後積算気温で見た「まっしぐら」・「はれわたり」の刈取適期予想

出穂期 (西目屋村出穂状況)		7月30日 (始め)	7月31日	8月1日 (最盛期)	8月2日	8月3日	8月4日 (終わり)
出穂後10日間の最高気温		33.7	34.4	34.8	34.4	34.2	33.9
まっしぐら	刈取始期 積算気温 960°C	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月10日	9月11日
	刈取終期 積算気温 1,200°C	9月16日	9月18日	9月19日	9月21日	9月22日	9月24日
はれわたり	刈取始期 積算気温 970°C	9月5日	9月6日	9月7日	9月9日	9月10日	9月12日
	刈取終期 積算気温 1,300°C	9月22日	9月23日	9月25日	9月26日	9月28日	9月30日